

平成 27 年 9 月 9 日

江工会情報交換・意見交換会の記録と補足等

文責：勝田友治

監修：西村和也

開催日時：平成 27 年 8 月 14 日（金）10：00 から 11：40

開催場所：江津工業高等学校 視聴覚教室

出席者：学校：大賀美周作校長（副会長）、吾郷教頭

本部：土井会長、松浦副会長、高月進事務局長、佐々木一郎監査、

理事（江津）：西谷茂、城山一則、石橋孝義、

理事（県内）：横田雪生（金城）、築橋良治、板倉満幸（温泉津）、

大谷十三一（弥栄）、

理事（県外）：大草正（九州）、大屋節雄（山口）風早昭（関西）、

会員（江津）：島田博、尾崎克文、坂根広晃、佐々木克、

（関東）：西村和也、勝田友治、岸節雄、小田原実、河野一史、

（関西）：大谷茂、堀越保幸、

（益田）：大石環、藤原健三、石川展海、

（弥栄）：日原政春、

（浜田）：佐々木敏博、

（本部）：倉本晃、

出席者 33 名（出席予定者数 60 名・参加率 55%）

- 配布資料：1. 式次第
- 1) 案内一覧名簿（60 名に発送、出欠状況）
 - 2) 江津市県立高校のあり方検討会検討結果報告書
及び江津市広報 {パブリックコメント} 募集について
 - 3) 生徒の状況 ①生徒在籍数 ②通学別 ③自宅・寄宿舎等
④出身地別 ⑤出身中学別 ⑥卒業生進路状況
 - 4) 江工会資料 ①入学者の状況 ②中学の生徒数
③県教育委員会高校再編成計画（統廃合基準）
④江津市県立高校のあり方検討会
⑤H28 年度入学生より県外卒 4 名撤廃、
スポーツ推薦指定校（男子ボート 4 名）
⑥生徒数 ⑦部活動 ⑧進路状況
 - ⑨学校の PR 活動・HP の更新・学校新聞

- ・中学校進路説明会・中学校保護者説明会
- ・中学生1日体験入学 ・ボランティア活動
- ・小学生物づくり体験会

5) 校長より口頭で追加説明

- ①ボランティア活動:毎月11日、江津駅から校門まで清掃。
- ②小学生(将来の江津工高生)対象に「夏休み物作り教室」。

「勝田の質問」 関東支部から情報及び意見交換会の議題提案書

- (①魅力化推進委員会、②会則の見直し、③旧江津市内3支部の統合、④魅力化推進の方策)
- を本部へ提出しました。

今回の配布資料に入っていないがどのように取扱っておられるのか?

「土井会長回答」情報及び意見交換会の案内資料として配布済みです。

情報及び意見交換会の記録と補足 (勝田作成)

1. 開 会 : 高月事務局長

2. 会長挨拶 : 土井正人 (C39 卒)

情報及び意見交換会開催に至る経過説明。

勝田より動議 : 議事録を纏めるように提案し、土井会長が了解しました。

3. 校長挨拶 : 大賀美周作

1) 就任3年目になった。

2) 江津市役所が立上げた「江津市県立高等学校のあり方検討会」より江津市長宛「検討結果報告書」が3月27日に提出された。(添付資料の通り)

その後、江津市広報の通り「パブリックコメント」の募集がありました。

*6月下旬、江津市から県教育委員会へ「検討結果報告書」、「パブリックコメント」

が、

提出されたようです。

「勝田の補足」江津市役所へ問合せの結果 パブリックコメントは約20通。

そのうち、江津工高OBから約14通との事。

(提出者 : 関東、関西、九州、益田、山口支部会員等)

3) 新入生の募集状況説明（学校としては全力で生徒の確保に尽力している）

- ① 中学校訪問して学校説明
- ② 各地区で保護者に対する学校説明会
- ③ 中学校の進路・進学指導は成績で高校を決めているようです。

*JR 列車の都合（乗換・待ち時間）で浜田駅以西の生徒が減少している。

*桜江地区の中学生が 島根中央高校（川本）へも進学している。

4. 教頭による資料内容の説明（学校の現状報告）

- 1) 配布資料 : 3 生徒の状況
- 2) 配布資料 : 4 江工会資料

5. 西村関東支部長より情報及び意見交換会の議題提案書概要説明

- 1) 母校の魅力化推進委員会の立上げについて
- 2) 江工会会則（組織を含む）の見直し・改訂について
- 3) 旧江津市内3支部の統合と組織強化について

「勝田の補足」*本部へ送付した資料は上記の他に勝田作成の魅力化する為の
全体計画について（5月9日の本部理事会・総会で発表済み）

6. 討 議

1) 母校の魅力化、魅力化推進委員会立上げについて

①校長 ア) 各地区共、苦悩している中での事例等の説明

*島根中央高校、飯南高校：県外生が多くなっている。

*町が通学バスを提供して、通学支援をしている。

イ) 江津市：下校時のみ通学バスを提供中。

ウ) 市内某私立高校は大田・川本・三隅から通学バスを運行。

※補足・・・江津市の資料によると江津市内の中学生：平成26年度220名の内、
江津工高へ32名、江津高校へ67名、市内私立高校へ41名。

市外高校へ80名。（浜田：34名、川本町：18名、その他：28名）

*江津工高の入学生：82名（江津市以外から50名）

②勝田 ア) 江津普通高校のPRが凄いい。（8月11日付け、山陰中央新報記事）

*5月には江津市都野津町内自治会回覧板で存続署名運動

*山陰中央新報の記事に校長が「孫のI・Uターン」のPR

*市内全住戸へ上記案内文の配布済み。

*お盆休みで帰省中のOBを含めてPR等。

イ) 江津工業高校もマスコミを利用したPRする方法を考えたのが良い

と思う。

ウ) タイムスケジュールを作成し年内に推進委員会を立上げるべき。

エ) 来年度より県外生受入枠の撤廃、スポーツ特別枠の採用が発表されたので、県外入学生への PR を至急開始するよう提案します。

③校長 上記②-ア) について：地元の父母、祖父母に対する行動で問題は無いと思われる。

上記②-エ) について：各校が直接、県外の中学校等へ働きかけることは、県教育委員会より禁止されており、何ができるか指示待ちです。

ア) 地元で江津工業高校のイメージが悪いようだ。

*改善策として 江津駅・通学路（江津駅から校門）の清掃。

イ) 江津市の奨学金制度が新設された。

*ポリテクカレッジ生対象。

1年生は最大で60万円、2年生は39万円の合計99万円が利用できる。

卒業後、地元企業（市内）で5年間勤めれば、返済免除される。

※今後江工会としてどう支援すべきか各支部に問われた。

④築橋（M42 卒 美郷町）ア) 委員会を早急に立上げ、
母校存続をバックアップすべき。

⑤関西支部 ア) 委員会立上げに賛同する。
イ) 生徒の地元就職意志が強くなっている。（新会員減少）

⑥江津市役所支部 ア) 江津工業高校を存続させるべき。
イ) 旧江津市内3支部を早期統合すべき

⑦益田支部 ア) 準備委員会の早期立上げをすべき。
イ) 実業高校として存続するように応援をします。

⑧弥栄支部 ア) 準備委員会を早急に立上げること。
*土井会長から「立上げを検討します。」との回答がありました。

⑨山口支部 ア)推進委員会を早急に立上げること。

- ⑩九州支部 ア) 県教育委員会で統廃合の方針が決まっているのでは？
イ) 優秀な生徒の募集対策として中高一貫教育が必要と考える。

- ⑪城山 (M37 卒、山パル OB) ア) 江津工高の卒業生は即戦力で貴重。
イ) 民間企業就職の PR を強化すべき。
* 山パル支部の活動再開指導を依頼済み。

- ⑫西村 (A47 卒、関東) ア) 地元企業 (江津工業団地を含む) との連携。
イ) 山形県長井工業高等学校の事例紹介。
市役所・地元企業・長井工高の連携が凄い。

「勝田の補足」 * 長井工高については元一橋大学大学院「関満博教授」が
地元産業育成と工業高校の良い事例として説明されています。
* 現在も島根県の産業コーディネーターをされているはずです。
* 全国に門下生がいて以前、江津でも門下生全国大会が開催
されました。
C43 卒の横田学さんはその時の筆頭幹事でした。

- ⑬岸(C37 卒、関東) ア) 存続する為には江津工高・江工会・PTA・地元企業
の連携が必要と考える。
イ) PTA としての活動はどのようになっているのか？
* 浜田市内 3 県立高校の PTA は浜田市久保田市長に
3 校の存続要請書を 13 日に提出済み。
(14 日付け、山陰中央新報の記事を提示。)

- ⑭佐々木 (A40 卒、江津) ア) 江津工業高校は存続すると思う。
(江津工業団地の企業誘致の手段として)

- ⑮勝田 (E38 卒、関東) ア) 産・官・学の共同事業として
田才 (C43 卒) さんが立上げを準備中。
* 江津市内の金属加工業の企業・江津工高・
ポリテクカレッジの 3 者で、技術向上等の為。
イ) マスコミを利用した学校紹介を進め中学生に
親近感を持たせる努力が必要と思う。
ウ) 最近、学校の HP が大幅に改善されている。

⑩土井（C39 卒、会長）ア）江工の存続、統廃合について9月中に県教育委員会の方針が発表されると思う。

*具体的な内容説明はありませんでした。

2) 会則の見直し・改訂について

関東支部（西村）より提案主旨説明

ア) 今年の本部理事会・総会で名誉会長職（学校長）が無くなり学校長が副会長に変更。

イ) 母校の存続が問題になっている現在、現状の会則では対応できない。各支部長を理事にして（その他の理事もあり）広く意見を聞き体制を立直すべきである。

*土井会長回答：地元の理事を集めて検討したい。次期総会に提案したい。

3) 旧江津市内3支部の統合について

関東支部（西村）より提案主旨説明。

江津に3つの支部があるが、いずれも活動が停滞しておりここで地元支部が、統合することでリーダーシップを発揮できる強い支部を設立していただきたい。

7. 閉会の挨拶（土井会長）

1) 江工会は母校(学校長)からの要請で行動を開始すべきと考えます。

*江工会はあくまでも「学校の支援部隊」とであると強調されました。

8. 閉 会